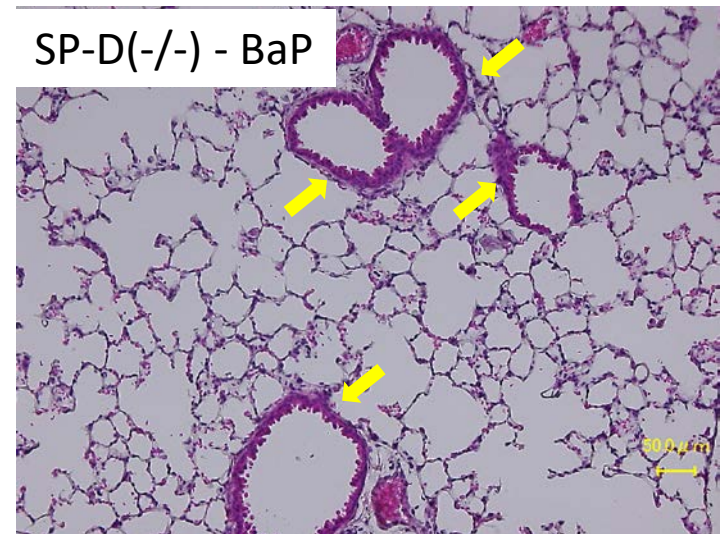
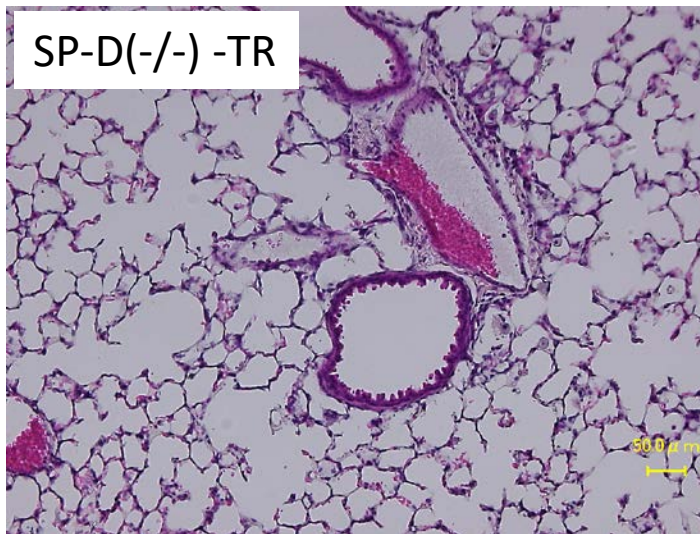
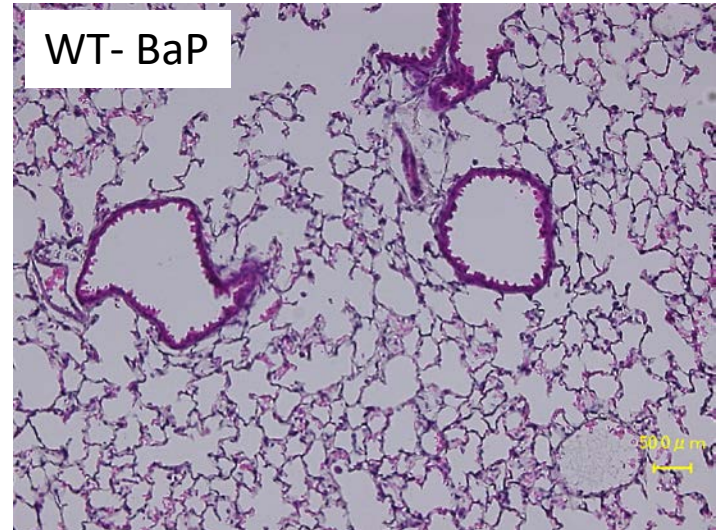
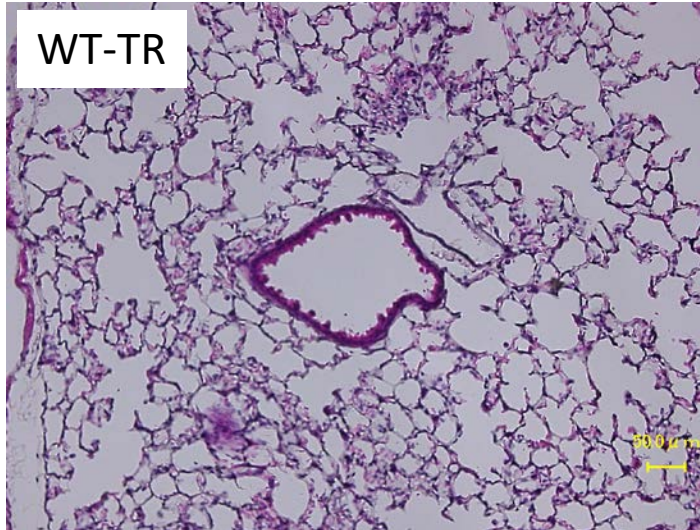


Figure.1

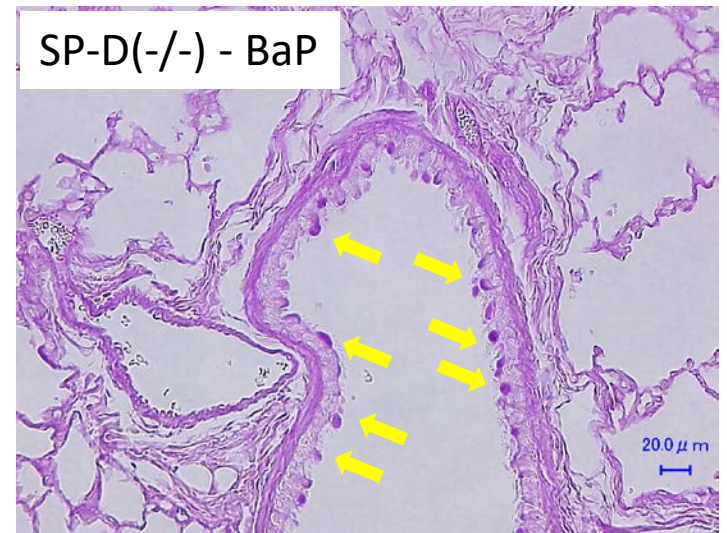
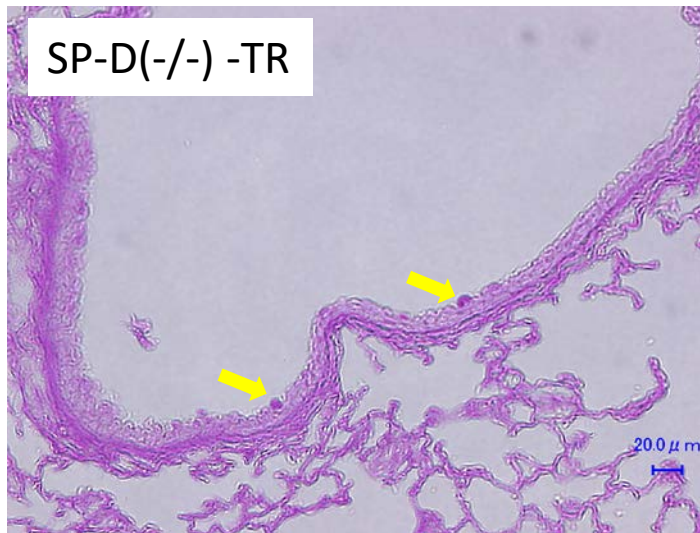
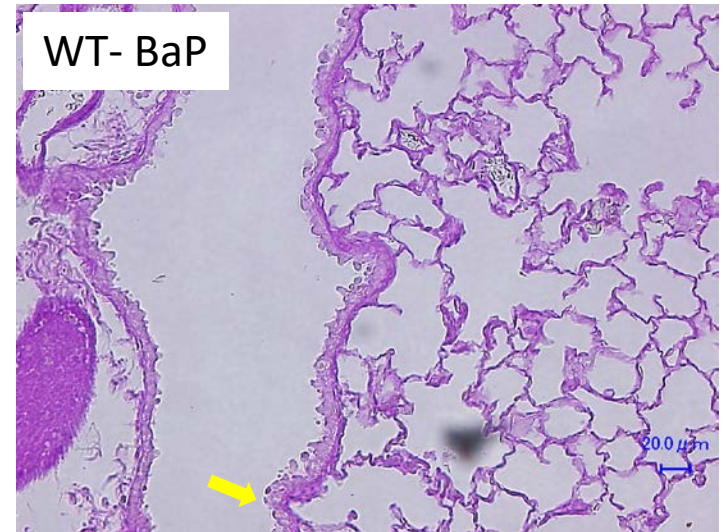
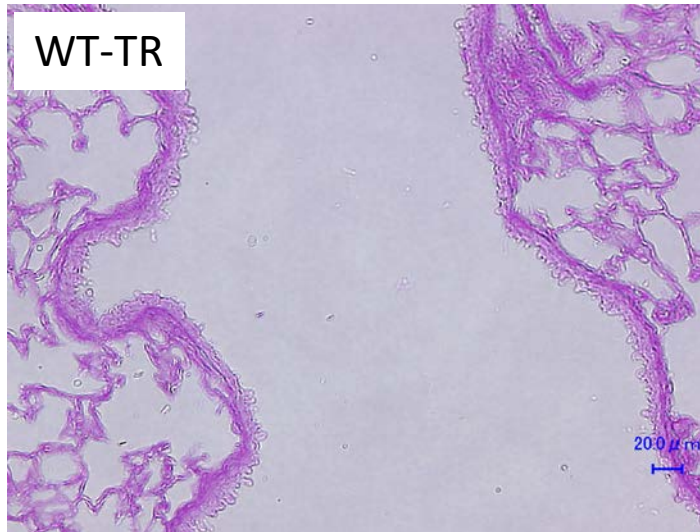
HE染色



細気管支領域を中心に観察すると、SP-D(-/-)-BaP群で、細気管支上皮の肥厚を認める(↑)。

Figure.2

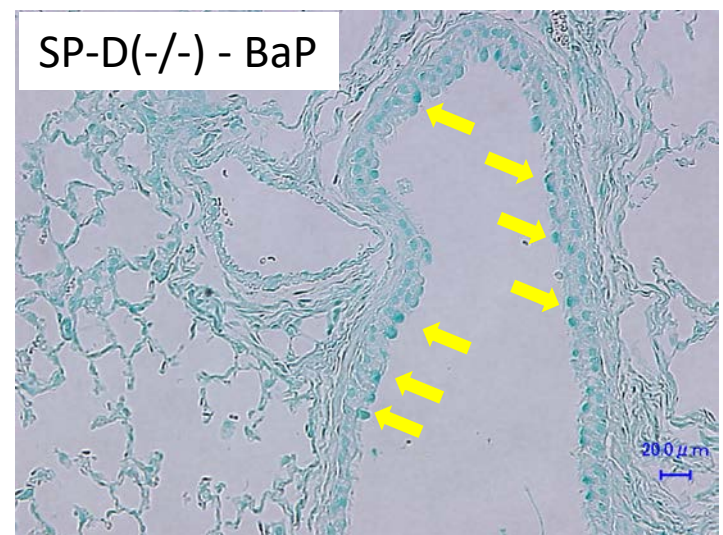
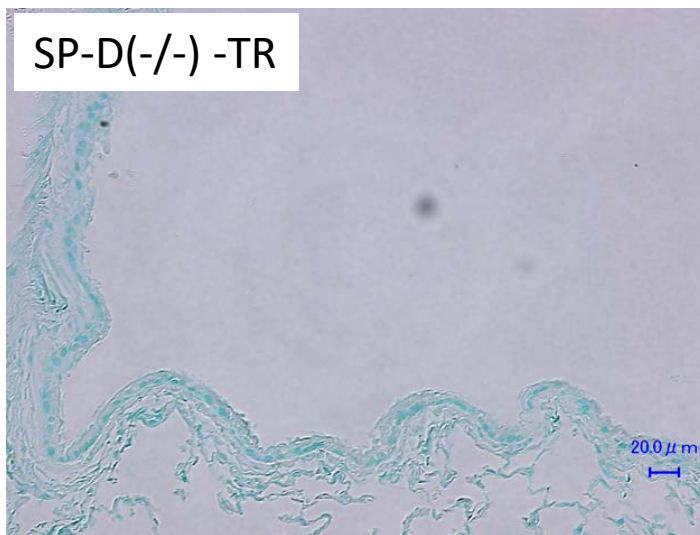
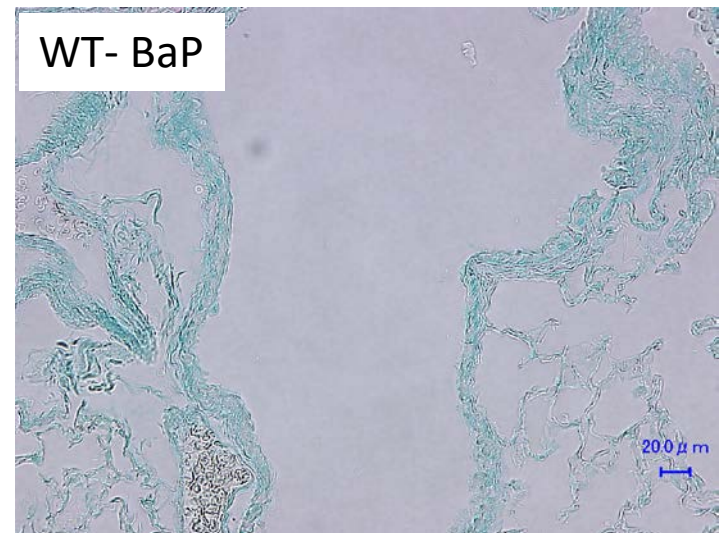
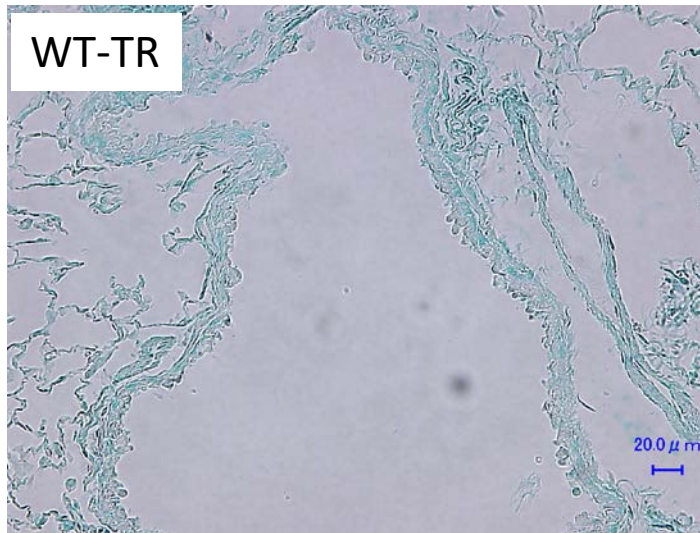
PAS染色(強拡大)



比較的區域支に近い終末細気管支領域で、PAS陽性細胞が認められる(↑)。  
SP-D(-/-)-TR群に比して、SP-D(-/-)-BaP群で著名なPAS陽性細胞の増加を認める。

Figure.3

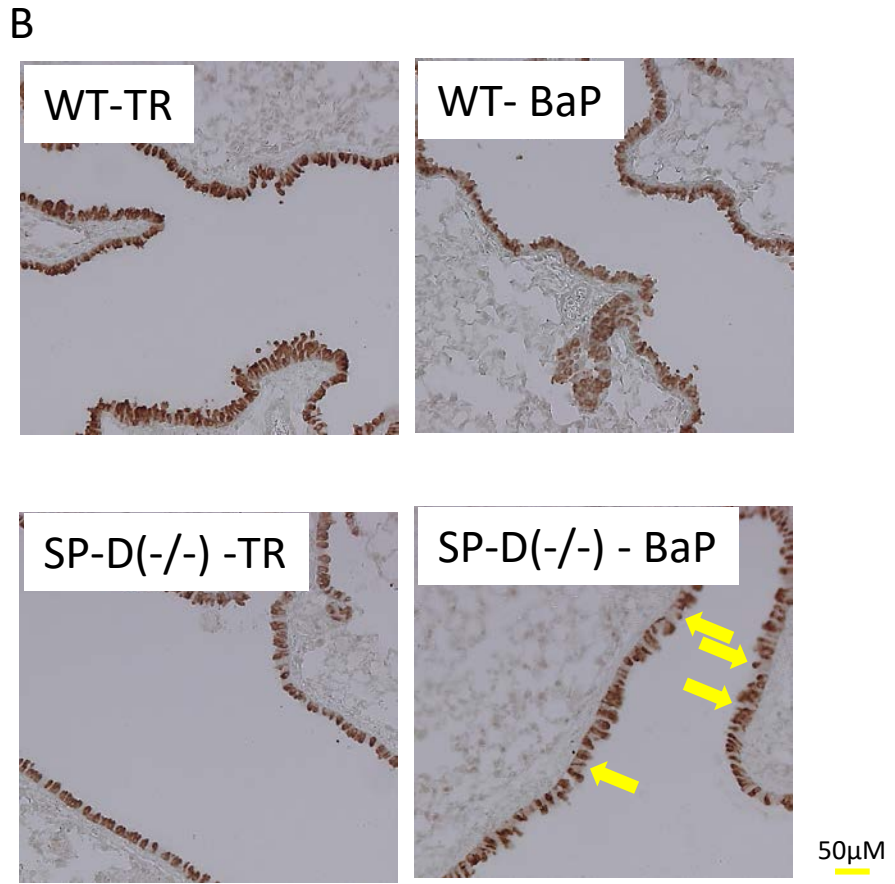
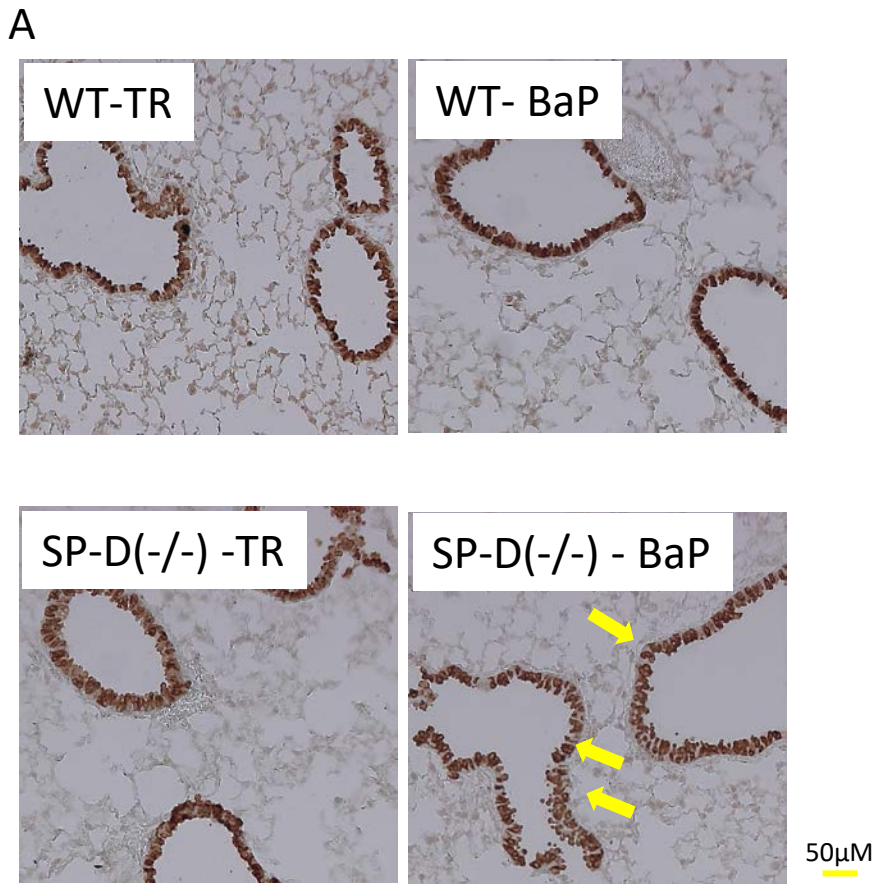
Alcian blue染色(強拡大)



PAS染色同様、SP-D(-/-)-BaP群で著名なAlcian blue陽性細胞の増加を認める。

# CC10免疫染色

## Figure.4

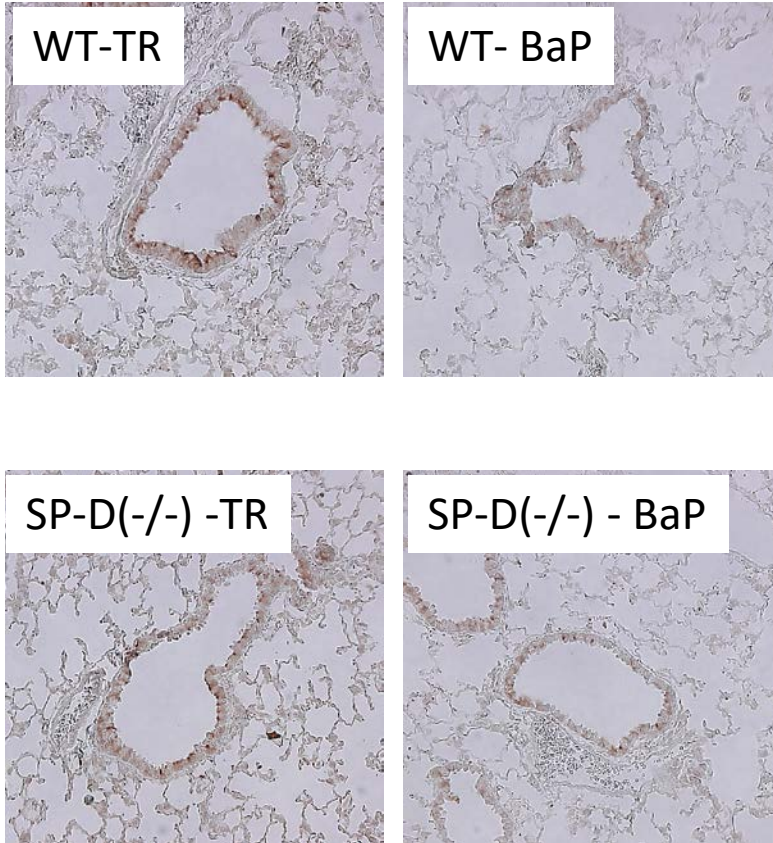


**A**  
 .細気管支領域を中心に観察すると、  
 HE染色同様SP-D(-/-)-BaP群で、  
 細気管支上皮の肥厚と  
 配列の乱れを認める(↑)。

**B**  
 SP-D(-/-)-BaP群で、より区域気管支に近い細気管支領域を  
 観察すると、上皮の配列中に、CC10で染まらない細胞が  
 観察され、杯細胞の過形成が推測される。

Figure.5

SP-A免疫染色



終末細気管支付近、気管支上皮のSP-Aの発現は、WT-TR群と比してWT-BaP群で抑制されて見える。同様の傾向はSP-D(-/-)の2つの群においても観察される。